

# 『北陸防災&情報通信セミナー』を開催 ～ 防災・減災に関する講演と最新の防災システム機器を展示 ～



挨拶する伊丹局長

総務省北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八）は、平成25年12月3日（火）、KKRホテル金沢において、北陸地方非常通信協議会（会長 伊丹 俊八）及び北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）との共催により「北陸防災&情報通信セミナー」を開催し、放送事業者、電気通信事業者、行政機関等から160名を超える参加がありました。

冒頭、伊丹局長が「総務省では、東日本大震災などの教訓を踏まえ、災害に強いICT利活用を一層推進するため、昨年度から災害に強い情報通信技術の実現に向け取り組んできた。セミナーでは、取り組みの成果をはじめ、北陸地域の地震津波防災について講演いただくので、自治体や企業の方々の今後の取り組みの参考にしていただきたい」と挨拶しました。

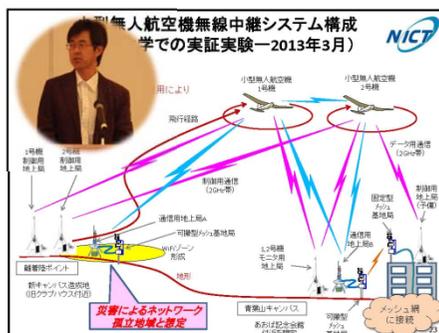


講演する宮島昌克氏

セミナーでは、金沢大学理工研究域の宮島昌克教授から「東日本大震災と北陸における地震と北陸における地震津波防災」と題して北陸地方も津波災害とは無縁ではないこと等について講演、続いて独立行政法人情報通信研究機構ディペンダブルワイヤレス研究室の三浦龍室長から「小型無人飛行機を活用した無線中継システム」と題して通信設備が破壊された際にも通信を確保するための研究成果について講演、最後に一般社団法人マルチメディア振興センタープロジェクト企画部の川喜多孝之担当部長から「公共情報 commons の概要と運用状況について」と題して住民への安心・安全に関わる公的情報を迅速かつ正確に伝える情報通信基盤について講演があり、参加者は講演の内容に熱心に耳を傾けていました。

セミナーに併せて、13者・団体からICTを活用した災害関連の通信機器等の展示も行い、来場者に一層の認識を深めていただきました。

北陸総合通信局は、今後も関係団体と連携し、各セミナーの開催等を通じ、防災・減災の認識を深めていきたいと考えています。



講演する三浦龍氏



講演する川喜多孝之氏



機器展示ブース